

日高管内農業生産法人会 活動の活性化に向けて

～地域の現状を知り、地域農業の未来を考える～

(広域推進 担い手)

- ◆活動年次：令和5年度
- ◆対象：日高管内農業生産法人会会員等

1 課題の背景

日高農業生産法人会が設立されてから年数を経過し、昨今は活動の低迷やマンネリ化、参加者の固定化などが目立っていた。そこで新たな取り組みとして、会員および会員外の農業者からニーズを把握し、活動の活性化を図るため、地域農業の近未来を考える意見交換会（ワークショップ）を企画するに至った。

2 活動の経過

時期	内容
R5 10月上旬	法人会役員を巡回し、打合せ（研修会内容に関する情報交換）
10月中～下旬	広域3主査で連携し、「意見交換会（ワークショップ）」を企画
11月2日	法人会役員との打合せ（意見交換会に向けた内容説明と確認）
11月～	<p>ワークショップ準備</p> <ul style="list-style-type: none"> * 中央農業試験場技術支援グループ 金子主幹との連携及び情報交換 * 広域3主査での打合せ * 情報収集、資料作成 など
	<p>横で5年前と比較</p> <p>R2年に65～69歳の人は、人が多くいる最後の世代 その後は同年代の仲間が少なくなる一方・・・</p> <p>S町の人口推移表</p>
12月1日	<p>情報交換会（意見交換会の内容に関する協議）</p> <p>法人会役員及び会員、広域3主査で内容を協議</p>
12月中旬	法人会実務担当者会議（第1回：意見交換会の内容について説明）
12月27日	役員会（意見交換会に向けた最終打合せ）
R6年1月10日	<p>ワークショップ事前演習（本所地域第2係との連携）</p> <p>地域系の協力のもと、当日の進め方を想定しながら演習し、イメージをつかむ</p>
1月12日	法人会実務担当者会議（第2回：役割分担と当日の確認）
随時	広域3主査との連携、本支所の実務担当者や各地域係とのオンラインを活用した打合せ等、情報共有および情報交換を密に行った

3 活動の結果

R6年1月22日、意見交換会を開催！

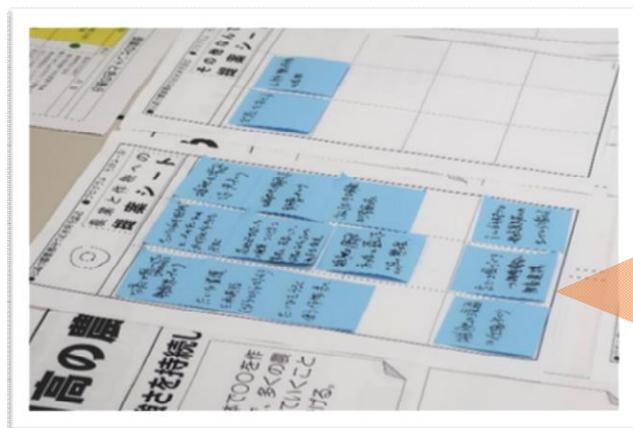
- (1) 役員や実務担当者からの声掛け等により、会員をはじめ会員外の農業者や関係機関等、合わせて25名が参加した
- (2) 意見が出やすいように、少人数のグループに分けることとし、60代以上のグループと、50代以下は農産関係と畜産関係のグループに分け、3班体制とした
- (3) 普及センター地域係に進行役を担ってもらい、スムーズにすすめることができた
- (4) 今後に向けて、新たな視点での意見が多く出され、会員同士のみならず関係機関との交流も図ることができた



情報提供として、国勢調査(人口動態)から、まずは地域の現状を知ってもらった



日高農業の強み、弱みは何があるか？不安なことは何か？地域にどんな資源があるか？について意見を出しあい、その後、未来に向けた提案を考えた



【出された意見】

- 「日高のネームバリューをもっと生かそう」
- 「日高昆布とのコラボはどうか？」
- 「土づくりが重要、堆肥をもっと活かすべき」
- 「お米が美味しいことをもっとPRしては？」
- 「山のものも海のものもあり、資源は豊富」

4 残された問題点

- (1) 出された意見を、今後の法人会の活動にどう活かすか検討する

5 今後の対応

- (1) 意見をふまえた、法人会としての新たな活動の企画・運営
- (2) 新規会員獲得に向けた情報発信の検討